

## 第 132 日本森林学会大会における発表方法について

日本森林学会会長 丹下 健

第 132 回日本森林学会学術大会運営委員長 土屋俊幸

プログラム編成委員長 梶本卓也

第 132 回大会は、オンライン開催となります。研究発表の方法は、以下の通りです。詳細は、今後、学会のウェブサイトやメールマガジンで随時お知らせします。

### 1) 口頭発表 (Zoom Webinar を利用)

- ・発表方法：プログラムにもとづく、リアルタイムでの発表です。
- ・発表時間：一般部門及び公募セッションの場合は 15 分（発表 12 分、質疑 3 分）。  
企画シンポジウムは、コーディネータが時間内で配分した時間となります。
- ・配信方法：当日は、プログラムに沿って、報告者の操作でプレゼンテーション動画を配信してください。  
(プレゼンテーション動画の作成が困難な発表者には、別に、配信にあわせた口頭発表の方法を検討します。)
- ・プレゼンテーションファイルの提出：当日のトラブル回避のため、事前に、発表内容を収録した動画ファイルをバックアップとして提出してください。動画ファイルの作成方法や、提出先・提出方法などの詳細は、後日、周知します。
- ・質疑応答：発表時間中に「Q&A」に記入いただいたものを、発表者が口頭で応答する方法とします。
- ・座長：一般部門の発表には、4～5 題発表ごとに配置します。

### 2) ポスター発表 (LINC Biz を利用)

- ・発表方法：事前に提出いただいたポスターファイルを学会の大会期間中\*、大会ウェブ上に掲示します。  
\*掲示期間となる大会期間についての詳細は、後日、周知します。
- ・ポスターの提出：ポスターファイル(JPEG 形式を推奨) は、事前提出です。提出先・提出方法など詳細は、後日、周知します。
- ・質疑応答：掲示期間中にチャットで質問を受け付けて、発表者はチャットで応答する方法とします。リアルタイムの質疑応答 (コアタイム) は行いません。
- ・学生ポスター賞：選定は、提出されたポスターファイルの内容と、チャットによる質疑応答により評価を行います。